

# 良政の路道

昭和十二年一月二十日第一回  
昭和十二年三月二十五日印 刷 納本  
昭和十二年四月一日(毎月一回一日發行)

禁 轉 載

第 四 号 第 九 十 卷



鋪裝報國

鋪

日本鋪道株式會社

東京・丸之内

社長 濟利三郎

東京・大阪・福岡・札幌・京城・台北・新京・橫濱・名古屋・京都

製造販賣鋪  
第五事務室

株式會社  
アマルビア

東京瀝械工業所

本社 東京市京橋区銀座西三ノ一碌々館  
電話 京橋(56) 1325 番

大阪出張所 大阪市東区鈎鐘町二ノ二九  
大倉土木株式會社大阪出張所土木部内  
電話 東 321-325 番

仙台出張所 仙台市東七番丁四五  
電話 仙台 3226 番

# 道路の改良 第十九卷 第四號目次 昭和十一年四月一日發行

口繪 東京方より大成橋を望む  
瀬社橋(大分縣)

## 卷頭言

論說

### 都市交通小論

經濟學博士 楠崎敏雄(三)

研究

### 公益企業評價論(七)

内務事務官 武若時一郎(八)

### 米國道路建設聯邦補助二關スル法令(二)

内務省檜垣正男(二)

技術

### 三徑間ゲルバー式鋼橋の徑間割

内務技師 小澤久太郎(四)

### 最近に於ける殘留應力測定の一傾向

内務技師 島田八郎(五)

### 瀝青乳劑に關する國際研究聯合委員會

内務省土木試驗所 福島彌六(セ)

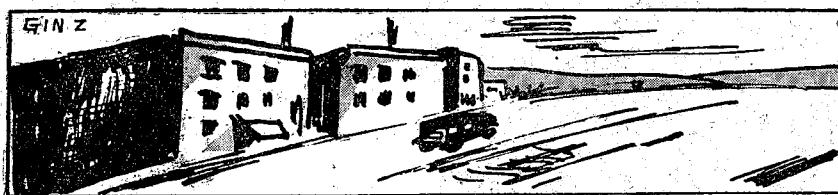
說苑

### 都市農村の土木政策の推移(一)

鹿兒島縣地方技師 藤田宗光(三)

### 道路改良の經濟的效果に就て(七)

内務省守屋秋太郎(十)



奈良縣道路愛護會

奈良縣 士木課(一四)

靜岡縣道路愛護情勢

靜岡縣 土木部(三三)

縣賞受賞兒童の歡喜は斯うだ

民(三四)

德島縣下に於ける道路愛護作業實施團體  
及篤行者並修路工夫表彰

德島縣 土木課(三八)

### 地方通信

北海道・東北・關東・北陸・東海・近畿・四國・九州の各地方

(三三)

### 法令

通牒

道路工事請負資格停止ニ關スル疑義ノ件回答・都市計畫區域内ニ於ケル直轄國

道改良工事施行ニ關スル件・土地收用ニ關スル件回答・鐵道又ハ專用軌道敷設  
ノ爲ニスル道路占用ニ關スル件依命通牒・自動車運輸事業免許申請取扱ノ件(一四)

最近内務省に於ける路政關係行政處分例

M M 生(一四)

### 路政春秋

掘つて掘つて掘り返す街頭珍景……其他

(一三)

### 雜報

◎修路工夫の表彰◎第八回國際道路會議委員會◎六大都市道路協議會委員會◎内務省土木試驗所  
談話會◎近刊の圖書雜誌

編輯室の内外  
叙任辭令

(一四)

優良国产

製品、選擇ハ先づ原料、  
選擇カラ、瀝青乳剤、  
良否ハ原料アスファルト  
、選定カラ



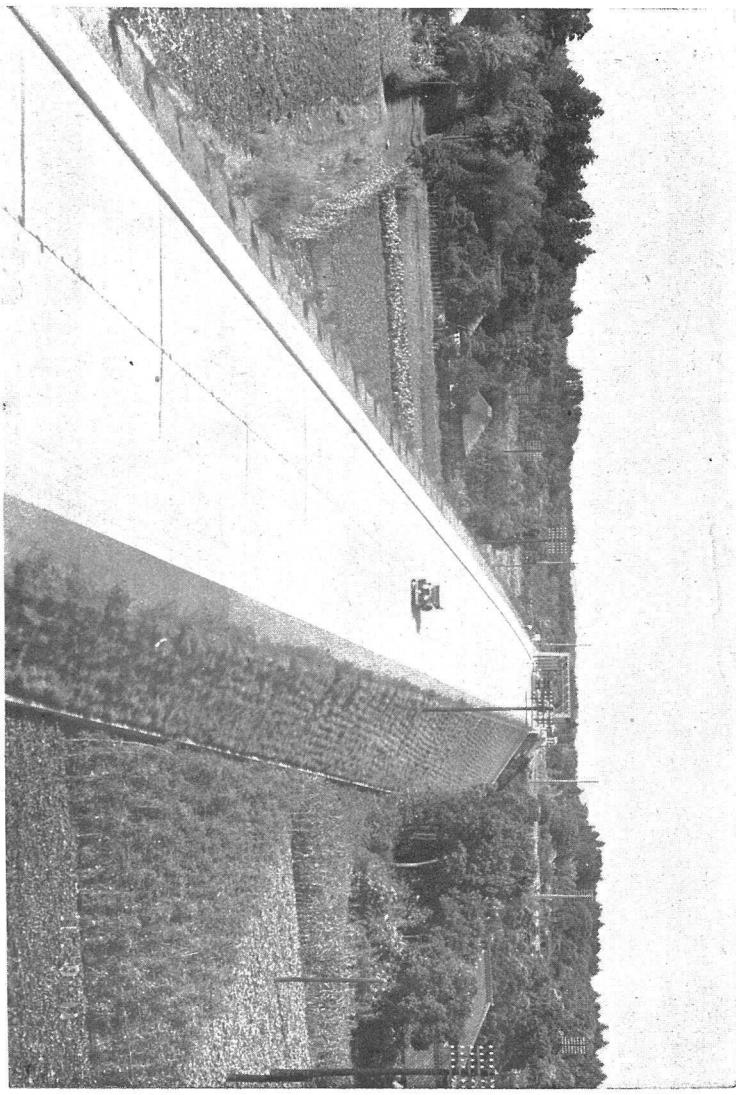
東京本店  
新宿支店  
横濱支店  
大阪支店  
名古屋支店  
福岡支店  
東北支店  
北海道支店  
瀝青乳剤  
アスファルト  
生産販賣  
大設備  
一、大設備  
アスファルト  
販賣  
東日本  
東洋一、  
優良  
瀝青乳剤  
アスファルト  
販賣

日本石油アスファルト一手販賣

淡野物産株式會社瀝青部

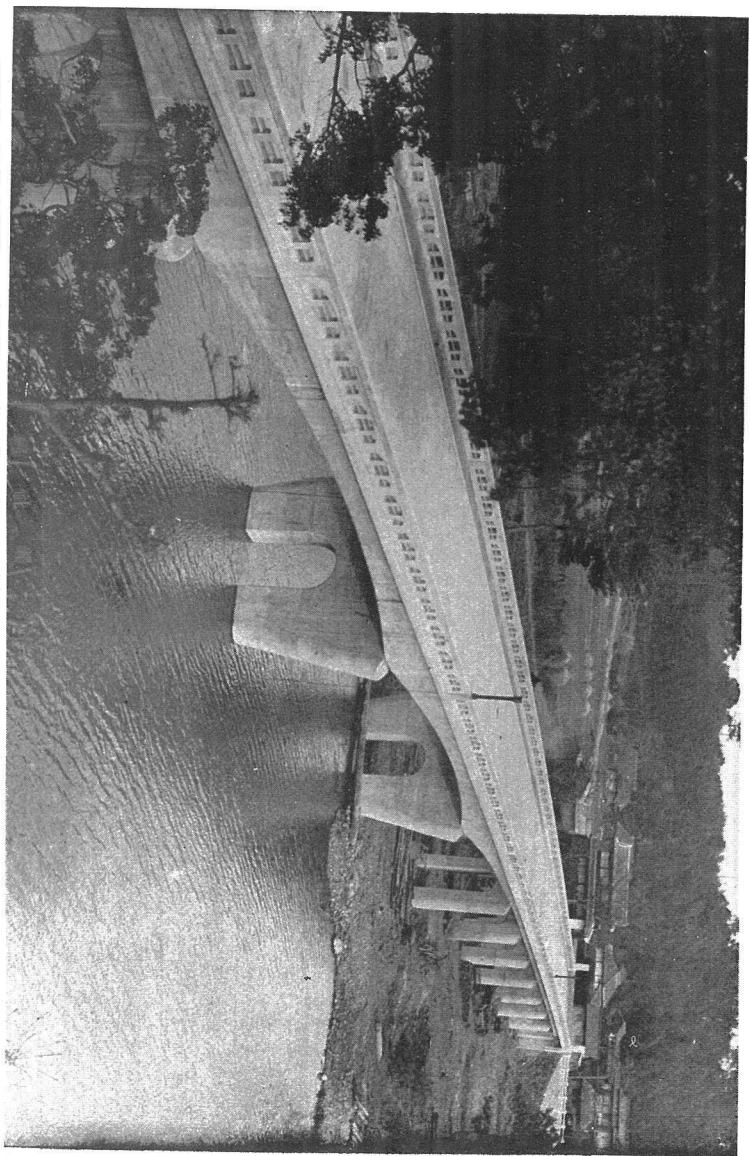
東京丸之内海上ビル(電話丸内2581-2589)

東京方より大成橋を望む



地先名 埼玉縣北足立郡日進村路線名國道九號線

瀬 社 橋 (大分縣)



路線名	工事箇所	施工者
勝勢	宇佐郡豊川村驛館村界驛館川筋 昭和拾貳年貳月	大分縣直營
7連	橋種 鐵筋コンクリート單桁橋及アル バーハンク橋	起工 昭和拾年八 月
米式コンクリート橋臺	2連 25.00米 2連 20.30米	延長 172.01米
アスファルト乳劑鋪裝	鐵筋コンクリート橋間 166米	單橋 11.63米
事費 84,921圓	有効幅員 7.50米	橋面 コンクリート鋪裝アスファルト乳劑鋪裝
内 労力費 32,000圓	其ノ他 6,921圓	路面構造アスファルト乳劑鋪裝
材料費 46,000圓	就労延人員數 22,150人	步道 2.00米



早 強

# アサノ ペロセメント

強度高  
硬度リ  
早使テ  
クク  
経濟

—説明書御申込次第送呈—

## 浅野セメント株式會社

東京市 丸ノ内 海上ビル

**エムラス乳剤販賣**  
**道路鋪裝並一般土木工事**

# 新乳剤、エラスト、発賣

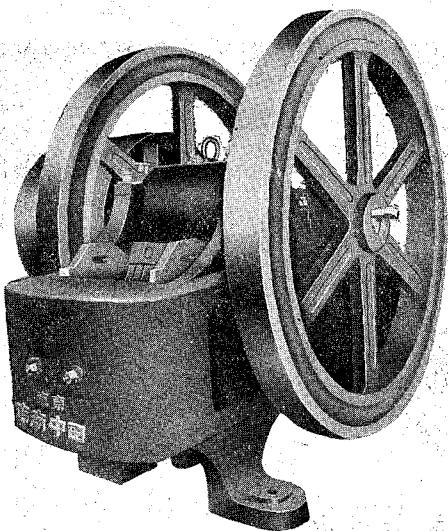
滿洲地方の極寒地にて實地施工の結果從來の瀝青又は瀝青乳剤の  
 一大缺點たる耐寒性を完全に補充し溫度に對する抵抗性を増大せ  
 る寒國向の理想的な乳剤なり。

# エムラス道路工業株式會社

本社 東京市向島區吾嬬町西四ノ一一四  
 電話・墨田(七四)二六三七  
 工場 東京市・(滿洲國)新京市、ハルビン市  
 (朝鮮)群山、春川・(北海道)札幌市・(九州)  
 佐賀市、大分市(東北)弘前市・(關西)大阪市・  
 新京市・ハルビン市・群山府・札幌市・佐賀市  
 出張所 大阪市

# 田中式ブレーキ・クラッシャー

諸官廳納入



カタログ  
御申込次第送呈

道路・上下水道・港湾・河川  
用 諸 機 械 製 作 販 売

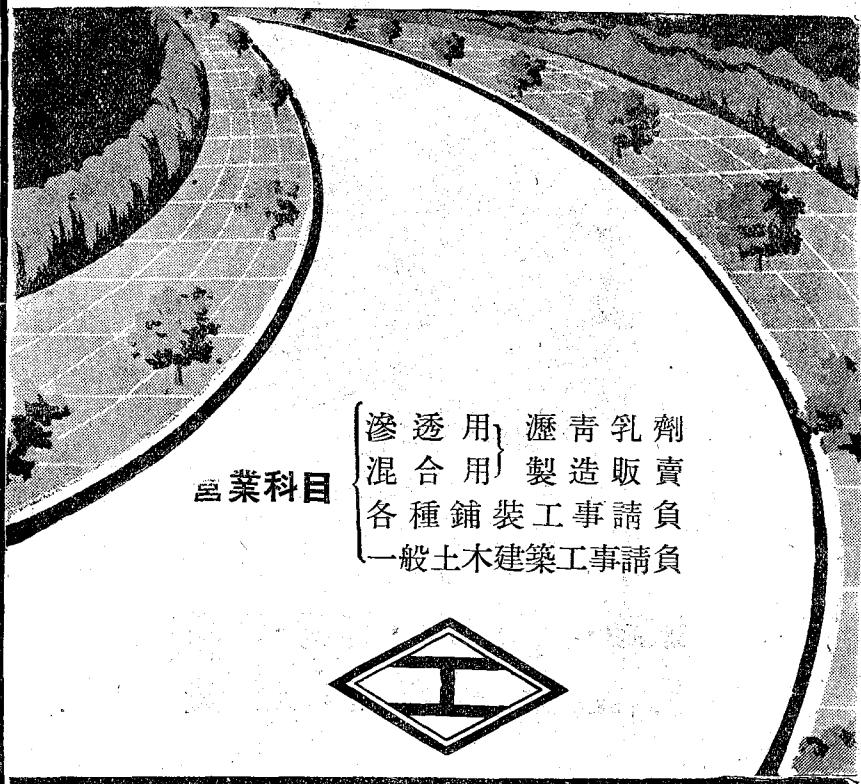
製 作 發 售 元

田 中 商 店

東京市京橋區京橋三丁目五番地  
電話(56) 五五〇九・八三四〇

# 道路鋪裝

(カタログ 購呈)



業科目

滲透用  
混合用  
各種鋪裝工事請負  
一般土木建築工事請負  
乳劑  
製造販賣  
青乳劑  
販賣

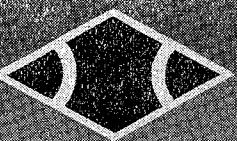


## 東邦工業貿易會社

本社 東京赤坂青山北町四ノ一〇三  
電話青山(36)四九七三・八一四八

工場 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二  
福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二

營業所 名古屋市・京都市・大阪市  
岡山市・廣島市・小倉市・熊本市



# アスファルト

アスファルト  
ロードアスファルト  
セメントアスファルト  
モルタルアスファルト  
ウオーターアスファルト

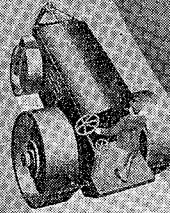
小倉石油株式会社  
専属販売店

# 曾宿南部

本店 東京丸の内三番六号館  
電話丸の内1654・5014

出張所 大阪西区土佐堀大同生命ビル  
電話 土佐堀(563)9番

出張所 名古屋市中区矢場町五の切東陽ビル  
電話 中國 2785番



事工裝鋪路道トルアフスア  
事工裝鋪トルアフーターオウ剤乳青渥  
販賣理代トルアフーターオウ・トルアフスア倉小  
販賣造紙グソイフルヒサア

社會式株木市都

地番二四丁一橋東區橋東市東京  
番八六二二(56) 橋京 話電

# 道 路 改 良 會

第五章 橫斷勾配	第六章 曲線部に於ける道路の構造
第三編 土工	第一章 工學博士 真田秀吉
第四編 道路の排水設備	第二章 失及選定法 利道 京都府土木部長 長久保俊夫
第五編 鋪装の構造及施工	第三章 砂利道 福岡縣土木部長 部工營課長
第一章 鋪装の種類、得失及選定法 利道 京都府土木部長 藤井眞透	第四章 水締マカダム道 東京府土木部長 岩崎雄治
第二章 砂利道 福岡縣土木部長 岩崎雄治	第五章 タール鋪装 本坂谷森 一平
第三章 水締マカダム道 東京府土木部長 岩崎雄治	第六章 アスファルト鋪装 本坂谷森 一平
第四章 澄青乳剤鋪装 本坂谷森 一平	第七章 クリート・コンクリート鋪装 本坂谷森 一平
第五章 タール鋪装 本坂谷森 一平	第八章 塊鋪裝 佐堀藤井 田中元
第六章 アスファルト鋪装 本坂谷森 一平	第九章 特殊鋪装 佐堀藤利信 一恭
第七章 クリート・コンクリート鋪装 佐堀藤井 田中元	第十章 步道鋪装 佐堀藤井 田中元
第八章 塊鋪裝 佐堀藤井 田中元	第十一章 軌道敷内の鋪装 佐堀藤井 田中元
第九章 特殊鋪装 佐堀藤井 田中元	第十二編 示方書
第十章 步道鋪装 佐堀藤井 田中元	第一章 水締砂利道及水締マカダム道 内務技師 大石義郎
第十一章 軌道敷内の鋪装 佐堀藤井 田中元	第二章 アスファルト乳剤鋪装道 内務技師 大石義郎
第十二編 工作物	第三章 基礎用アスファルト・コンクリート道 内務技師 大石義郎
第一章 橋梁及溝橋 三浦七郎	第四章 アスファルト・コンクリート鋪装道 内務技師 大石義郎
第二章 隧道 小澤久太郎	第五章 シート・アスファルト鋪装道 内務技師 大石義郎
第三章 擁壁 平山復二郎	第六章 セメント・コンクリート鋪装道 内務技師 大石義郎
内務技師 鈴木清一	第七章 アスファルト・ブロウク鋪装道 内務技師 大石義郎
内務技師 仙臺鐵道局長 東京市土木課長	第八章 小鋪石鋪装道 内務技師 大石義郎
内務技師 鈴木清一	第九章 煉瓦鋪装道 内務技師 大石義郎
内務技師 仙臺鐵道局長 東京市土木課長	第十章 鋪木鋪装道 内務技師 大石義郎
内務技師 仙臺鐵道局長 東京市土木課長	第十三編 法規
内務技師 仙臺鐵道局長 東京市土木課長	第一章 道路關係法規 内務技師 谷口松雄 一男
内務技師 仙臺鐵道局長 東京市土木課長	第二章 道路鋼橋 内務技師 鈴木清楠
内務技師 仙臺鐵道局長 東京市土木課長	第三章 土木事務官 谷口松雄 一男
内務技師 仙臺鐵道局長 東京市土木課長	附錄
内務技師 仙臺鐵道局長 東京市土木課長	測量に關する諸表、數式及力學公式及表、度量衡比較表、道路用語、索引
内務技師 仙臺鐵道局長 東京市土木課長	以上

道  
路  
職  
員  
必  
攜

三五判總皮綴函入  
金文字入絹紐付美本  
總頁數一千百五十餘頁

○道  
路  
界  
空  
前  
の  
大  
出  
版  
出  
來  
!!!

本書は、道路改良計畫並に其の設計の指針として、特に本會が斯界の權威者に執筆を依嘱し完成したるもので、別記目次の如く、その内容の豊富にして充實し居ること、記述が精緻を極め居ること、携帶に便なるハンドブックなること、印刷裝幀が鮮麗にして優雅なること、殊に近く改正せらるべき道路構造令、街路構造令並各其の細則に付きても記述してある點等に於て、本邦にては未だ類を見ざる出版であり、斯界人士の必須書である。發賣期日、内容見本並頒布價格に付ては近く發表する、御期待を乞ふ。

目次大要

第一編 總論  
第一章 道路經濟  
第二章 道路統計  
第三章 交通調查  
第四章 交通工具·輛

内務事務官 武若時一郎  
内務技師 永田  
内務技師 小野寺季六  
内務技師 永岩澤  
内務技師 田忠恭

第四章 駐止 其の他  
第五章 道路占用工作物

東京府土木部長 金子源一郎  
内務技師 横木清一  
内務技師 櫻井英寛之  
内務技師 佐藤道一記  
内務技師 田中元

## 第一章 路線の選定 第二章 道路の幅員 第三章 線形

第十編 維持及修繕

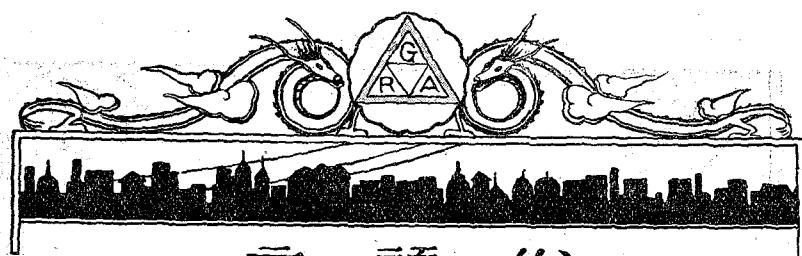
昭和十二年

# 道路の改良

四月一日

第十九卷  
第四號

GINZ



## 言頭卷

歐米の文化が物質主義に墮したる結果各方面に行き詰を招來し其の没落が政治方面からも思想方面からも宗教方面からも經濟方面からも將又歴史哲學的方面からも思想づけられて來た感がする、然らば東洋文化は如何。

支那堯舜の王道政治も孔孟の儒教道德も印度の哲學的宗教も其の本國に於ては殆んど歴史的事蹟に過ぎなくなつた（恰かも埃及ヒテウの文藝技術、羅馬の法制武威の跡を探究することと同一である）ならば東洋文化は既に已に没落し去つたのであらうか。

そ國家が永遠の生命をもつと信ぜらるるのは人類は永遠を求むる心が與へられて居る故に朝露の如きはかなき人生に永遠の姿を求め、永遠への思慕の心は到底取り去ることを得ないものである。其の心が終に國家の永遠性を認識するに至り國家の永遠性を持続する爲めに犠牲となるを甘んずるので其處に國家の發育がある。從つて國家の發育が停止するときに其の國家は滅亡する。之れ即ち古往今來世界の諸國興亡の史實に徵して明かなる所である。

人類社會の文化が行きつく所へ行きついて行き詰り、人類の永遠への思慕の心が傷つき破られ倒さるゝに至らんとする事、夫れを立ちあがらせて之を正しき希望ある方面に導かねばならぬ、其の重大なる使命を荷ぶ民族は何處に在るか。

我日本帝國の地位的關係は日本民族の構成分子として各種民族があり、夫れが各傳説と文化と生活様式とをもたらし來つたのは争ふべからざる事實である。而かも其の後儒教も佛教も科學も哲學も思想も洋の東西を問はず流れ來つた、而して設令其の本國に於ては如何なる現象を視らるゝにもせよ我等日本民族は克く之を咀嚼して日本精神を擴充し深化し發達する爲の栄養素となしたのである。我の傳統心態、佛說拘泥、歐化萬能の如き思想を排斥せんが爲めに、彌論せられた立正安國論とか垂加神道とか直毘靈とか、其の時代相を認識せずして今日妄りに於なきが如く宣傳し或は純乎たる古道の精神に歸れと論ずるが如きは學んで思はざるの甚しきものにて達觀者の言と謂ふを得ないのである。

我國大化の革政や明治の維新に見るに日本精神が勃興しが革新の原動力となつて生成發展し來つたのであるが今日革新の時運に在つて假裝（Disguise）された迷彩（Camouflage）された觀念に依て現實を偽り個人的な功利觀の爲に國民の正義と純眞とを利用することは實に道徳を破壊し社會を蹂躪し秩序と進展を阻止する思想乃至行爲であつて人生への反逆であると謂はなければならぬ。

萬民保全の道として未會有の變革に際し、天地神明に誓はせられ玉への國是は舊來の陋習を破りて天地の公道に基き、智識を世界に求めて大に皇基を振起し、上下心を一にして盛に經輪を行ひ斯くて天下億兆一人も其の所を得ざらしむるに存する、今日此宏遠なる勅意を追憶奉戴するに當り吾曹は敢て言ふ、事あれは激するも暫らくにして心倦み易き習性を省察回心し、永遠への思慕の前途に光明と希望とを求めて建設的文化の基礎を明徴にし、普く人類の福祉に貢獻する爲に協心努力しなければならぬ之れ吾等日本國民の使命であると。（涉民）